

みんな近所だに、一緒にやらずう!

彩りの杜

～地域をつむぐ～

丸子地域教育事務所通信 VOL.3

丸子地域教育事務所から、地域の公民館の活動や青少年の事業など、地域で行われているさまざまな活動や人物などにスポットを当て、年4回程度発信しています。

今回は、11月が「子ども・若者支援強調月間」であることから、上田市少年補導員と丸子地域青少年指導者協議会のみなさんの活動についてご紹介します。

平成 28 年 11 月 16 日 発行

丸子地域教育事務所(社会教育係)

上田市上丸子 1592 番地 2

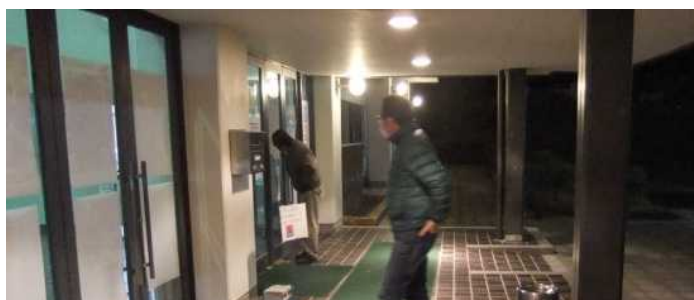
電話 42-3147 有線 24722

Email: mkyoiku@city.ueda.nagano.jp

URL: <http://www.city.ueda.nagano.jp/tanoshimu/kominkan/maruko/index.html>

上田市少年補導委員会【活動のねらい】

少年育成関係機関及び関係団体並びに民間有志者の協力を得て、少年育成活動を推進し、少年の非行を防止すると共に、その健全な育成を図るため活動しています。上田市全体で206人、丸子地域には25人の委員がいます。



丸子地区会長 内堀清美さんのお話

少年補導員は自治会から推薦された委員で、地域における街頭補導及び環境浄化等の活動を通じて青少年の非行予防、未然防止及び健全育成の活動をします。

主な活動は定期補導、一日補導、環境チェック活動、特別補導です。地域の協力者の方とともに、「地域のみんなで見守ろう、育てよう青少年」を合言葉に、街頭活動を行っています。補導活動は非行少年発見や犯人捜しではなく、大人の立場から心配される行為に対し、注意、助言を中心に正しい道へ導く活動です。(裏面につづく)



(表面からのつづき) 補導の「補」と、逮捕の「捕」と混同され誤解されがちですが、「補い導く」ことを基本に、排除の理論でなく「寄り添い支援する」と考え、“こんにちは”、“どうしたの？”と声掛けをしながら自然な態度で接しています。

今子どもたちはネット社会の中にいます。気軽に位置情報を送ってしまうリスクもあり、SNS、画像無料アプリ、ゲーム等のトラブルが問題になっています。子どもは教わらなくても知っています。保護者は管理する意識をもっと持ってほしいです。少年、少女の行方不明の事件がありました。普段私たち大人が子どもたちを見守り、特に夜間に安全安心な地域をつくる活動を今後も続けます。

丸子地域青少年指導者協議会【活動のねらい】

青少年の健全育成の重要性から丸子公民館と連携した活動を通じて、青少年の育成活動の普及・振興を図ります。また、青少年を育てる地域づくりと青少年の豊かな心を育むことを目的としています。現在は会員11人で活動しています。

会長：関本吉人さんのお話

わくわく体験塾(丸子公民館から委託されている事業で、丸子地域の小中学生を対象に年4回程度のイベントを企画運営しています)などのイベントを開催して、自然の中での仲間づくりを通じ、集団生活におけるマナーを学びます。普段の学校生活とは違った仲間をつくり、楽しく集いながら協力して活動することは、子どもたちのこれからの人生にも大きく影響するのではないのでしょうか。

最近子どもたちが地域の大人たちから怒られることも少なくなりました。家庭や学校以外での学びで豊かな心を持った子どもたちになってほしい、そう願っています。



わくわく体験塾で今まで行ってきたものは、練馬区立武石少年自然の家での宿泊体験塾です。他の学校の友達と一晩を過ごすことは、子どもたちにとって大きな体験になっています。日帰りで黒曜石のふるさとで縄文人にチャレンジ勾玉づくり、弓矢体験、ファミリー牧場でトラクターの乗車体験や動物とのふれあい体験も行いました。子どもたちはとても行儀よく参加してくれますよ。

その他、川遊び魚のつかみ取りをして焼いて食べよう、竹でマイ箸づくり、くしづくり、ペットボトルでプロペラ付の車づくり、野外での料理、ビール缶でご飯を炊いて食べよう、青竹でパンづくりなどをやりました。

わたしたち指導者協議会の会員も楽しく勉強し合いながらの体験塾にしたいと思ってイベントを企画しています。関心のある方は丸子公民館に連絡をください。ぜひ一緒に活動しましょう。今後は同じ目的をもった会との交流会も考えています。